

ご報告とご協力に対しての御礼

一第55回国際外科学会日本部会でのご協力に深く感謝して一

平成21年秋

国立病院機構災害医療センター 外科 原口義座

先生におかれましては、秋冷、紅葉の候ですが、ますますご活躍のことと思います。

去る7月3日・4日には、おかげさまで第55回国際外科学会日本部会を開催させていただくことができました。大変遅くなりましたが、深く御礼申し上げ、また簡単ですが、ご報告をさせていただきます。

多くの先生方にお世話になりました。本会の役員の先生方、ご司会・ご座長をしていただいた先生方、ご発表いただいた先生方、会員の先生方、さらに、学会の際には、市民公開講座を兼ね、「新型インフルエンザの恐怖と外科医の役割」のタイトルで、特別演題として模擬訓練をさせていただきました。ご協力をいただいた全ての方に繰り返し厚く御礼申し上げます。

学会の運営につきましては、当方が全く不慣れなことに加え、少ないメンバーで手作りでさせていただいたこともあり、大変ご迷惑をおかけしました。不行き届きの点が多々ございましたが、なにとぞ、ご寛容のほどお願い申し上げます。

開催時に、僭越ですが、会長挨拶の一環として、これまでの当方の活動に関して拙い発表もさせていただきました。今回、その際の内容にいくつかの追加させていただく形で、発表報告を印刷したものを同封させていただきました。

また、現在力を入れております、「災害医療」に関する私たちのオリジナルの2010年のカレンダー(通算第5版)も同封させていただきました。

現在、厚生労働省 新興・再興感染症研究「新型インフルエンザ大流行に備え訓練に関する研究」班の主任研究者としても活動させていただいており、しかも、現在も真っ最中のパンデミックでもあることもあり、当方も若干関与させていただいている東京商工会議の手引き(中小企業用ということで、だいぶ分野が異なりますが)等も同封させていただきました。

更に加えて、事後報告となりますが、上記班研究の実活動として10月12日に「緊急 新型インフルエンザ講演会 ～医院・診療所における対応のてびき～」と題してつくば国際会議場で講演会・シンポジウムを開催させていただきました。ご参加いただいた先生方もおられることと存じます。詳細に関しましては、インターネット(下記アドレス)をご参照ください。

ここでの「対応のてびき」は医院・診療所を主な対象と考えており、古河保健所長の川田諭一先生が中心となって作成しました。現在、国立保健医療科学院のホームページで閲覧できるようになっています。 <http://h-crisis.niph.go.jp/hcrisis/TopListServlet?objectsites=5> 日付 2009/11/11 13:19 分野 感染、災害 質問内容: 医院・診療所における対応訓練の手引き「～新型インフルエンザ(A/H1N1)感染症・蔓延期への備え～(暫定版)(平成21年11月9日)2009/11/09 厚生労働科学研究新興・再興感染症研究事業→「詳細」へ進めてください。または<http://h-crisis.niph.go.jp/hcrisis/DownloadServlet?fileid=4003> 近いうちに当方のホームページでもご覧いただけるようにしたいと考えております。

これらの活動が重なったこともあり、ご報告が遅くなりましたことを繰り返しになりますがお詫びします。ぜひお送りしたものをごらんいただき、ご意見をいただければ大変幸いです。

これからも、ご健勝に、特に新型インフルエンザにも、配慮しながらの先生のご活躍を祈念し、そして旧に倍するご指導をお待ちしております。

なお、お気づきの点がございました際の連絡先等は、以下にお願いいたします。

Email: akisatoh@titan.ocn.ne.jp or akisatoh@msf.biglobe.ne.jp

TEL: 042-548-1287 or 042-526-5511 (ex. 3174, 2303) FAX: 042-526-5540

URL: <http://www7b.biglobe.ne.jp/~akisatohito/>

第55回総会会長 原口義座



55th Meeting **国際外科学会日本部会**

International College of Surgeons Japan Section

